

a学校教育目標	「子どもも先生も通いたい学校づくり。保護者が子どもを通わせたい学校づくり。」	b経営理念	【ミッション】 ○「知・徳・体」をバランスよく育てたくましく生きる力を育む。 ○教職員をリーダーとして輩出できる学校。	【ビジョン】 ○三原小発の教育研究を進める。 知・国語科・算数科・特別支援教育の推進 徳・保・幼・小・中連携教育(不登校対策実践指定校) 体・食育の推進 ○教職員個々の授業力とチーム力を伸長し、学校力を向上する。 ○地域・保護者の絆を大切にし、三原小で学ぶ誇りをもちさせる。
---------	--	-------	---	---

評価計画				自己評価				改善方策		学校関係者評価				
c中期経営目標	d短期経営目標	e目標達成のための方策【努力目標】(◎本年度の重点)	f評価項目・指標【アンケートによる肯定的評価の割合(%)】	g目標値	10月	2月	達成度	j評価	k結果と課題の分析	改善方策	評価			コメント
					h達成度	h達成度					イ	ロ	ハ	
【成果目標】														
信頼される学校	各アンケート90%以上	各アンケート85%以上	◎子どもがわかる授業を工夫する。(年間研究授業3回)	教職員	100	89	89	B	・各サークルで教材研究を行い、計画通り研究授業を実施している。 ・迅速に対応するよう意識統一して取組んだ。 ・全校で意識統一して取組んでいる。	・今後も引き続き、工夫して授業ができるように取組む。 ・今後も連携を密にし、組織的に取組む。 ・学級通信を月1~2回以上発行するようにする。また、学校便りで、次の月の行事予定についても知らせる。	100%			・児童は、落ち着いて学習している。 ・学習態度の悪い児童もいない。 ・問題となる行動に対して適切に対応できていると思う。
			◎問題行動に迅速に対応する。敏速に組織的に。(欠席児童や問題行動はその日のうちに連絡)	教職員・保護者	95	82	86	B						
			◎情報発信(たより、ホームページ等)の目標を達成する。(学校・学年便り・月1回、学級通信・月1~2回以上)	教職員・保護者	90	78	87	B						
確かな学力			◎家庭での学習時間の目標を達成する。	児童・教職員・保護者	90	73	81	B	・児童に目標時間について指導が徹底できていない。 ・点検表を掲示して進捗状況が把握できるようにしているが、学級によって取組に差がある。 ・目標点を意識しての取組が徹底されていない。 ・校内で統一して取組んだ。	・家庭学習の重要性について指導し、児童に目標時間を意識させる。 ・学級で徹底して取組むよう、放課後の学力補充を充実させ、個別で学力の定着を図る。 ・今後も引き続き取組む。	100%			・読書に関心をもちたよう取組んでいることがわかる。
			◎読書の目標を達成する。(必読書を達成する。)	児童・教職員	80	60	75	C						
			◎国語・算数の単元テスト目標平均点(低90点・中86点・高83点)を達成する。	教職員	90	63	70	C						
			◎学習規律の定着を図る。(話し方・聞き方・ノートのとり方)	教職員	90	78	87	B						
豊かな心	児童アンケート90%以上	児童アンケート80%以上	◎基本的な生活習慣を身に付ける。 H22年度比できた児童10%増	児童・教職員・保護者	80	61	76	C	・しっかりと声が出ていない児童に、きちんと挨拶をさせるような指導が徹底できていない。 ・学級で係りを決めるなど工夫して取り組んでいる。 ・走っている児童に対しての指導が徹底できていない。 ・学年でねらいを確認し合い、計画的に取り組んだ。	・校内で出会った人には、必ず挨拶することを再度各学級で指導し、できていない児童にはその場で指導する。 ・廊下歩行について各学級で指導し、できていない児童にはやり直しをさせるよう、意識統一して取組む。	100%			・以前廊下の真中にテープが張ってあった。そのことで児童に守ろうとする意識を高めることができると思う。
			◎充実感のある保・幼・小・中連携を進める。	児童・教職員	90	96	107	A						
			◎廊下の右を歩く。	児童・教職員	80	61	76	C						
			◎交流活動のねらいを達成できた児童を80%以上にする。(1・5年)	児童・教職員	80	89	111	A						
鍛える	全国平均以上60%以上の学年	全国平均以上40%以上の学年	◎体育の授業でサーキットトレーニングをとり入れる。	教職員	80	73	91	B	・全校で意識統一して取組んだ。 ・目標を決めて取組んだ。	・今後も体育の時間には必ず行い、基礎体力をつけさせる。 ・目標を決め、達成度を確認することで次への意欲につなげさせるように取組む。	100%			・ジョギングタイムは大変よいと思う。 ・体力づくりに向けて継続して取組んでほしい。
			◎一人一人の児童が目標を決めてジョギングタイムを行う。	児童・教職員	80	70	88	B						
健やかな体	H22年度比	H22年度比	◎欠席者を減らす。 H22年度比	児童・保護者	80	70	88	B	・基本的な生活習慣について、保護者啓発が効果的にできていない。 ・保護者の理解を得るよう、食育や虫歯の完全治療に取り組んだ。 ・給食を残さず食べることに、全校で意識統一して取り組んだ。 ・歯磨きについて、意識して取り組めていない学級もある。	・今後も引き続き、理解、協力をしてもらうよう取組を行う。 ・再度全校で意識統一をし、粘り強く取組む。	100%			・家庭における生活習慣についてアンケートを実施することで啓発にもなるため継続して取組んでほしい。
			◎家庭での生活習慣の定着を図る。 H22年度比できた児童10%	児童・保護者	80	74	93	B						
			◎早く寝る。(時刻:低 8時~9時 中高 9時~10時) (時間:低 9~10時間 中高 8~9時間)	児童・保護者	80	74	93	B						
			◎早起き(6時30分まで)をする。	児童・保護者	80	74	93	B						
			◎金メダルの朝ごはんを食べる。	児童・保護者	80	74	93	B						
			◎食事のときは、テレビを消す。	児童・保護者	60	49	82	B						
			◎ゲームを2時間以上しない。	児童・保護者	80	65	81	B						
			◎食生活の習慣をつける。 児童アンケート	保護者	70	91	130	A						
◎虫歯の治療に連れていく。	児童・教職員	85	89	105	A									
◎給食を残さず食べる。	児童・保護者	100	86	86	B									
◎給食の後、歯みがきをする。	児童・保護者	100	86	86	B									

【自己評価:j評価】 A:100%以上(達成) B:80%以上100%未満(ほぼ達成) C:60%以上80%未満(もう少し) D:60%未満(できていない)

【学校関係者評価:評価】 イ:自己評価は適正である。 ロ:自己評価は適正でない。 ハ:わからない